

19 インチラックマウントキット

MCR12 ユーザーマニュアル

3 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているか確認してください。

<input type="checkbox"/> MCR12	1台
<input type="checkbox"/> PWR4	1台 (MCR12 に装着済み)
<input type="checkbox"/> AC 電源ケーブル	1本 (1.8m)
<input type="checkbox"/> ブラケット	2個
<input type="checkbox"/> ブラケット用ネジ	6個
<input type="checkbox"/> アース端子	1個
<input type="checkbox"/> M5 ナット	2個
<input type="checkbox"/> ユーザーマニュアル (本書)	1冊
<input type="checkbox"/> 製品保証書	2枚
<input type="checkbox"/> シリアル番号シール	4枚 (MCR12 用2枚・PWR4 用2枚)

- ※ 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※ 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器ではご使用できませんので、ご注意ください。

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望めます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

MCR12 は、POWER SUPPLY A のスロットに PWR4 が 1 台装着された状態で出荷されます。



J613-M5276-00 Rev.B 050810

1 特長

- 2 個の電源ユニット用スロットを装備
 - オプション (別売) のリダンダント電源ユニット「PWR4」を追加すると、電源障害による機能停止を防止することができます
- ホットスワップ (機器の動作中の脱着) 対応
- LED による動作確認が可能
- 同梱のブラケットを使用して EIA 規格の 19 インチラックに装着可能

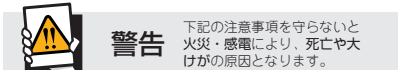
2 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。



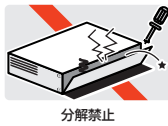
安全のために

必ずお守りください



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

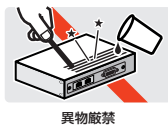
分解や改造をしない 本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル類・機器類にさわらない 感電の原因となります。



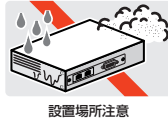
異物はいれない 水は禁物 火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



通風口はふさがない 内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のある場所には置かない 火災や感電の原因となります。



表示以外の電圧では使用しない 火災や感電の原因となります。本製品は AC100-240V で動作します。なお、本製品に付属のケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



正しい電源ケーブル・コンセントを使用する 不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



電源ケーブルを傷つけない 火災や感電の原因となります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



設置・移動のときは電源プラグを抜く 感電の原因となります。



光源をのぞきこまない 目に傷害を被る場合があります。光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- 湿気の高い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80% 以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所



静電気注意 本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはいていない 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で 誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



らかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポート ID 番号」を取得している場合、サポート ID 番号をお知らせください。サポート ID 番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいてもかまいません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

どちらの製品のシリアル番号シールかは、下図のようにシリアル番号の頭 6 桁で識別してください。

MCR12	
-------	--

PWR4	
------	--

● 設定や LED の点灯状態について

- LED の点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状態で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。

- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスিস株式会社 (弊社) の親会社であるアライドテレスिसホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレスिसホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2004-2005 アライドテレスिसホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOM は、アライドテレスिसホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

18 日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

0120-860442
月～金 (祝・祭日を除く) 9:00 ～ 17:30

19 マニュアルバージョン

2004 年 12 月 Rev.A 初版
2005 年 8 月 Rev.B 第 2 版

● PWR4 を交換する場合

- 電源ケーブルを電源コネクターから抜き、電源をオフにします。
- 装着済みの PWR4 の拘束ネジをドライバーでゆるめて引き出します。
- 新しい PWR4 をスロットに差し込みます。PWR4 の前面のパネルが MCR12 のパネルと揃う位置まで押し込み、拘束ネジを締めてください。
- 電源ケーブルを接続します。



必ず取りはずす前に電源ケーブルを抜いて、電源をオフにしてください。



PWR4 を 2 台装着している場合は、交換しない側の電源ユニットの電源を切る必要はありません。(ホットスワップ対応) 交換の際は、PWR4 に付属のユーザーマニュアルを参照してください。

10 製品仕様

	MCR12	PWR4
適合規格		
安全規格	UL1950, CSA-C22.2, No.950	
EMI 規格	VCCI クラス A	
電源部		
定格入力電圧	AC100-120V/AC200-240V	
入力電圧範囲	AC90-132V/AC180-264V	
定格周波数	50/60Hz	
定格入力電流	3.0A(100-120VAC) / 1.5A(200-240VAC)	
最大入力電流 (実測値)	1.2A (MC100x を 12 個搭載時)	
平均消費電力	58W (最大 74W) *1	55W (最大 66W) *2
平均発熱量	200kJ/h (最大 270kJ/h) *1	190kJ/h (最大 240kJ/h) *2
環境条件		
動作時温度	0 ～ 40℃	
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)	
保管時温度	-20 ～ 60℃	
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)	
外形寸法 (突起部含まず)		
	444(W) × 217(D) × 132(H)mm	225(W) × 120(D) × 61(H)mm
質量		
	5.0kg	780g

※ 1 MCR12 に MC100x を 12 個台実装、PWR4 を 2 台実装。

※ 2 MCR12 に MC100x を 12 個台実装、PWR4 を 1 台実装。

11 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレスिस株式会社 修理受付窓口

0120-860332

携帯電話 / PHS からは：045-476-6218
月～金曜日 (祝・祭日を除く) 9:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害 (人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない) については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

12 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレスिस株式会社 サポートセンター

http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/

0120-860772

携帯電話 / PHS からは：045-476-6203
月～金曜日 (祝・祭日を除く) 9:00 ～ 12:00
13:00 ～ 18:00

13 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により弊社からの連絡が遅れることもございますが、あ

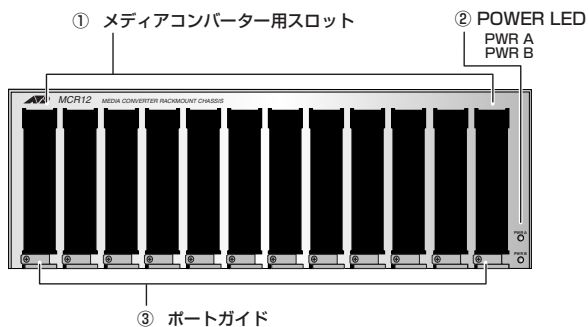
4 対応機種

本製品は、CentreCOM MC1004/1005/1005LH2 用の 19 インチラックマウントキットです。対応機種が追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。メディアコンバーター本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

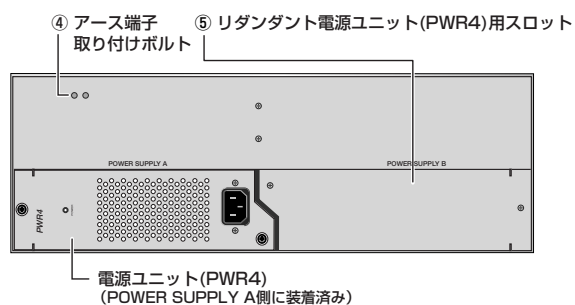
<http://www.allied-tesis.co.jp/>

5 各部の名称と機能

MCR12 前面



MCR12 背面



- ① メディアコンバーター用スロット
対象機器を最大 12 個設置することができます。

電源が入った状態のままで、対象機器の取りはずしが可能です。
ヒント

- ② POWER LED (緑)
電源ユニットに、電源が正しく供給されているときに点灯します。

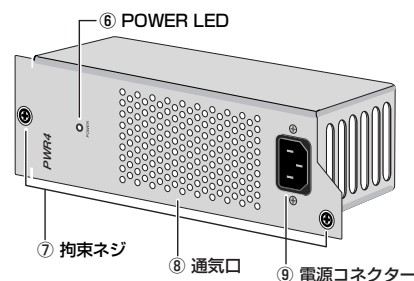
PWR A	POWER SUPPLY A に電源が供給されている
PWR B	POWER SUPPLY B に電源が供給されている

- ③ ポートガイド
対象機器をメディアコンバーター用スロットに装着するためのガイドです。

- ④ アース端子取り付けボルト
アース線を設置するためのボルトです。アース用銅線をアース端子に取り付け、同梱されている M5 ナットで固定します。

- ⑤ リダンダント電源ユニット (PWR4) 用スロット
リダンダント電源ユニット「PWR4」(オプション別売) を装着するためのスロットです。スロットのカバーパネルは、PWR4 を装着するとき以外ははずさないようにしてください。

PWR4 外観



- ⑥ POWER LED (緑)
電源が供給されているときに点灯します。電源ケーブルが正しく接続されていないか、指定した電源電圧が使用されていない場合消灯します。

- ⑦ 拘束ネジ
MCR12 に装着し、固定するネジです。

- ⑧ 通気口
換気により、本製品内部の熱を逃すための穴です。

通気口をふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。
注意

- ⑨ 電源コネクター
電源ケーブルを接続するためのコネクターです。同梱のケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

6 設置するまえに

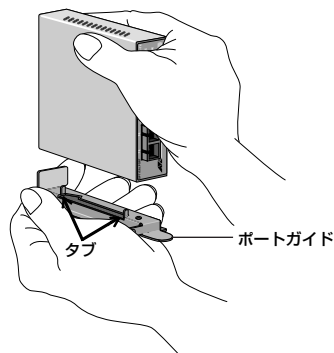
- 設置にあたってのご注意
本製品の設置・使用を始める前に、「安全のために」をよくお読みください。設置にあたっては、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体にある通気口をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。
- 19 インチラックに設置するときは、同梱のブラケットを使用してください。

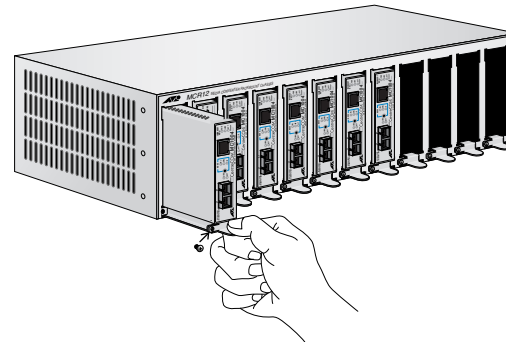
7 設置

- 対象機器を設置する

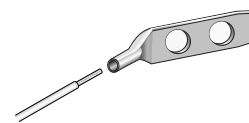
- 1 各スロット内のポートガイドのネジをドライバーでゆるめて、ポートガイドを引き出します。対象機器側面(機器正面から見て左側)にある通気口の穴にタブの部分をはめ込みます。



- 2 対象機器をはめ込んだポートガイドを各スロットに装着し、ポートガイドのネジで本体に固定します。

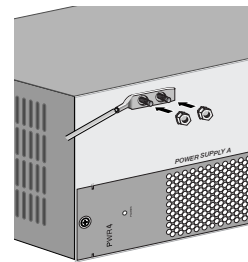


- 3 同梱のアース端子にアース線(別途用意)を差し込み、圧着工具を使用して差し込んだ部分を圧着します。



アース線として 12 AWG または 14 AWG の銅線を使用してください。
また、圧着工具は別途ご用意ください。
ヒント

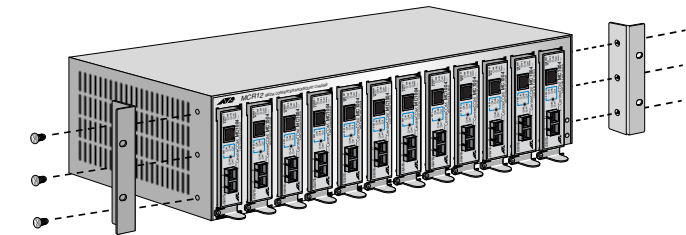
- 4 アース線を取り付けたアース端子を、本体背面のアース端子取り付けボルトにはめ込み、同梱されている M5 ナットでしっかりと固定します。



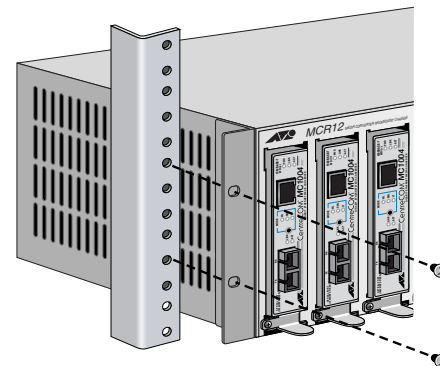
- 5 アース線の片側をユーティリティの GND 側に接続します。

- 19 インチラックに取り付ける

- 1 ドライバーなどを使用して、本体底面の四隅にリベットで留められているゴム足をはずします。
2 同梱のブラケット用ネジを使用して、本体両側面にブラケットを取り付けます。両側面には各 3 本のネジを使用します。



- 3 19 インチラックの希望する位置に本体を合わせて、ラックに付属しているネジでしっかりと固定します。

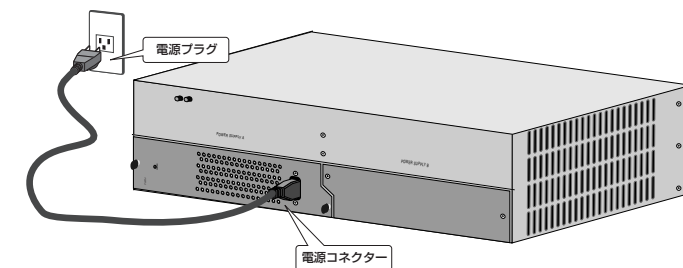


ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱の物を使用し、19 インチラックに適切なネジで確実に固定してください。
固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

8 接続

- 起動と停止

電源ケーブルを電源コネクターに接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込みと起動します。
電源プラグを電源コンセントから抜くと停止します。



本製品を AC100V で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

本製品には電源スイッチがありません。電源を切る場合は電源プラグを電源コンセントから、抜いてください。
ヒント

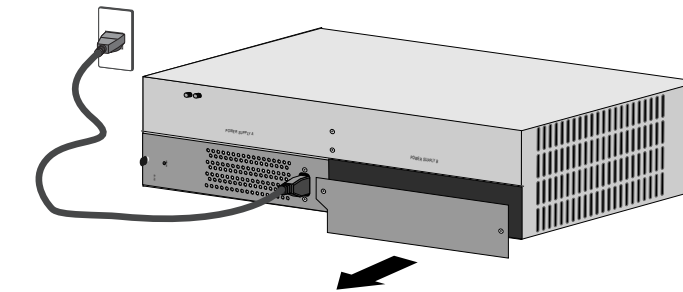
電源をオフしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。
ヒント

9 電源ユニット

オプション(別売)のリダンダント電源ユニット「PWR4」を装着すると、電源障害による機能停止を防止することができます。

- 空のスロットに PWR4 を装着する場合

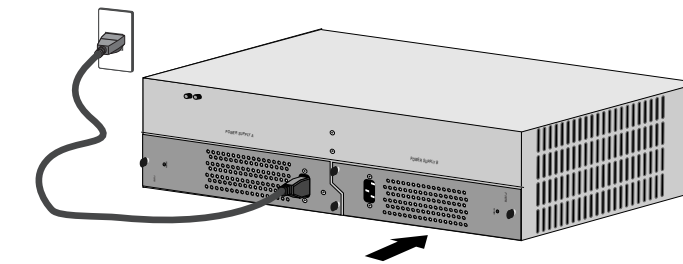
- 1 MCR12 背面のリダンダント電源ユニット用スロットのカバーパネルのネジをドライバーでゆるめて、カバーパネルをはずします。



カバーパネルは、PWR4 を装着するとき以外ははずさないようにしてください。また、カバーパネルの内部に異物を入れないでください。火災や感電、機器故障の原因となるおそれがあります。

すでに装着済みの電源ユニットの電源を切る必要はありません。(ホットスワップ対応)
ヒント

- 2 PWR4 スロットに差し込みます。PWR4 の前面のパネルが MCR12 のパネルと揃う位置まで押し込み、拘束ネジで固定します。



電源ケーブルを別々の系統の電源供給元に接続してください。
ヒント